

岡山訪問記

一 保 姆

に就いての概括を紹介する事にする。

一、幼稚園普及状況

視察といふ堅いつなで我と我が身を縛るのは辛かつた、地理もたどらず歴史もひもとかず誠に不用意な豫備智識を以てプラットホームに起ち、車窓の人となつた。唯長年の宿望であつた幼児教育の岡山を訪れることの嬉しさに足も踊り心も勇んだ。夜行で早朝京都に着、身を清めて御所を拜觀し名物名所をたづねて其夜直に岡山に向つた。

翌朝驛に着したのは未だ黎明の五時十三分であつた、氣持よく掃除の行きとどいた構内の整然さ、まづ旅の身にうれしかつた。

扱これから個々の幼稚園訪問記にうつるに先立て、まづ岡山縣、市内に於ける一般幼児教育狀況

岡山市面積一五〇〇余方里、人口約一三〇〇〇〇の小都市ではあるが、幼児教育の隆盛ことに幼稚園の普及、其の施設の行き届きたる、其の統一ある、實際保育に於ける幼児生活の充實せる、保姆各位の眞執なる研究態度と縣、市當局の熱ある聲援指導、一般社會の厚き信頼と深き理解は實に稀に見る所であつて取り以て大いに他の大小都市の幼児教育施設の參考とすべきである。岡山市全人口一三〇、〇〇〇のうち小學兒童約一三、〇〇

○、幼稚園々兒一、三〇〇を數ふ。小學校教員三〇四名に對し幼稚園保姆四名であつて就學兒童

一七、五九一名の中幼稚園修了者一、一五〇名約一割弱である、更に小學校數及幼稚園數に至ては

市立小學校一二に對する市立幼稚園一二其の他縣立女子師範には附屬幼稚園あり、又市内に私立二園あつて實に國民基礎教育たる幼稚園普及の理想

はかゝ實現せられつゝある。然し收容幼兒數に制限があつて市民一般の希望者を全部入園せしむる事不可能の爲まづ學齡前一年即ち一年保育兒を出來得る限り收容し然る後年少兒を入園せしむる事となつてゐる。市内幼稚園の創立を見るに最古きは明治十八年で次は同二十年に三園、大正三年に一園、同七年に一園、同十一年に一園、同十五年に一園、昭和二年に四園で内容の充實と共に其數に於ても年を追て増加しつゝある、これは市立幼稚園に就てのみの事であるが、縣下隣接郡部にあ

つては最近數年或は婦人團體、或は特志家の發起に依て年毎に増設せられて居る。

二、市立幼稚園經費狀況

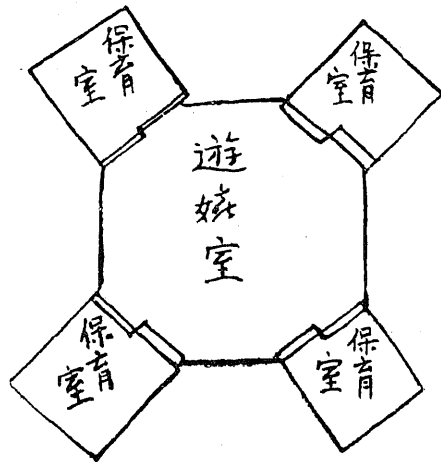
岡山市費歳出一六七一、五九六圓のうち、教育經常費總額四五一、八五二圓で市費百圓に對する教育費率は四三・六〇圓である。

更に其の中の小學校經常費と幼稚園經常費とを對照すれば、小學校十二校の經常支出費は三二四、二二三圓で、市立幼稚園十二園の經常支出費は三五、一七六圓で約一割強を示してゐる。この中授業料の收入豫算額が尋常小學校では一人月收一八錢で年に、二〇、八七八圓で幼稚園は一人月收一、五〇圓で年に、二六、七九六圓である。更に教員給を對照すれば小學校教員給二四六、九七圓で幼稚園保姆給は二二、九八〇圓即ち小學校教員給に比して約一割弱である。なほ講習費として一園に

五〇圓乃至三〇圓宛と、視察出張旅費として一圓平均約三八圓を豫算してある。

三、幼稚園設備狀況

市立幼稚園十二の中、獨立園舎を有するもの七園、小學校の一部を借用するもの五園、園地坪數では獨立園舎を有するものでは園地は約三〇〇坪乃至一〇〇〇坪、其の中園舎一二〇坪乃至三〇〇余坪で、室の種類を分ければ、遊戯室、保育室、保姆室、幼兒休養室、應接室小使室等で其數は各園共通に、遊戯室一、保育室一乃至五、其他は一室づつである、とりわけ特色と見らるるは當市各園の遊戯室で其の大方は園地或は園舎の中央にあつて廣さも四十坪以上八十坪に及び、室の形は種々であるが中央に柱なき八角形のもの又は圖の如く八角の周圍に保育室を設け謂以梅鉢式建築園舎多く、勿論いづれの園も一階建て板又は敲の一間乃



日光浴と云ひ新鮮なる外氣に接し得ることと云ひ土地豊富なる所の園舎として實に理想的なものである。

四、市立幼稚園施設狀況

施設狀況は各園により其の特色を異にしてゐるが共通と見らるゝ各項を挙げれば左の様である。

1、日常保育に就きて

至九尺の廊下を設け、通路と云ふよりも保育室の延長として使用せられてゐる、

幼兒誕生日祝

園外保育

年中行事（社會行事、幼稚園行事）

個性觀察

幼兒生活記錄

身體檢查（入園前の三月及入園後五、七、九、

十一、三月）

動植物培養飼育

2、家庭との提携に就きて

入園前幼兒狀況調査

三月中旬新學年に入園すべき幼兒の保護者會

を開き家庭よりの希望を聞き、幼稚園の保育

の方針を語り又入園の準備につきての打合せ

をする。

家庭訪問

保護者の隨時參觀、及毎學期一回實地保育を參

觀せしめ且つ保護者（少人數づゝ）と懇談す。

遊戯會

運動會

唱歌會

製作品展覽會

通知簿（毎日幼稚園に持ち來り出席の印を

つけ保姆の檢閲を経て持ち歸る）

節句記念日等行事ある時は保護者を招待する

3、小學校との聯絡

低學年幼稚園合同研究會

4、保姆の修養に就き

毎週一回保育研究會（園内批評保育、要目研究

等）

讀書會

保姆相互に新刊圖書雜誌を購讀して紹介しあ

ひ意見の交換をする。

五、保育研究狀況

岡山市に於ける教育團體五、即ち岡山市學校教員協會、眞砂會、吉備保育會、岡山市保育會、岡山市教育會、とある中に明治二十三年創立の市教育會に次ぎて古き歴史を持つ吉備保育會の沿革を聞けば、即ち明治三十三年九月岡山市小學校長會

に於て、全市各小學校に附設せる幼稚園の保育が殆ど十年一日の如き觀あるを以て宜しく市内幼稚園保姆は各小學校長、女教師及び一般篤志者と協力して保育研究會を組織し學說の聽講、實際の研究視察講習等大いに知見を擴め以て幼稚園教育を改善振興すべしとの提議に依り各校長及び當日特に招致せられた各園主任保姆全員賛同の下に直に創立準備に取掛り、縣立師範附屬幼稚園市内私立幼稚園職員小學校女教員諸氏相ついで賛同入會し、翌三十三年一月發會式を舉げられたと。爾來今日に至る二十八星霜岡山市は勿論縣下に於ける幼稚園保育研究の爲大に實をあげ、現今の普及設

備及び保育法の進歩の遠因をなすに至ると。明治四十年以後縣下各所に幼稚園新設せられなほ廣島縣東部福山尾道鞆三原等の幼稚園職員の加盟希望者あり昭和二年には規則訂正に依てそれを許容したと。

會の事業として、遊戯研究、學說聽講、會員研究會發表、視察報告を常例とし、毎年一回以上名家を聘して短期講習を開き又隨時通俗講話會を開いて幼兒教養上の母姉の修養機會を作る等實積大いに見るべきものあり識者の義金を寄するありて大正十三年の秋四千三百圓を投じて岡山市に全國幼稚園關係者大會を、昭和二年三月三千餘圓を以て全國幼兒教育研究會大會を開催すと。

なほ市會議長にして市教育會長吉備保育會長たる國富友次郎氏は創立當事の提案者であつて今なほ諸會合の際は必ず出席せられ會員の努力、事業の進展を獎勵せらると聞く。熱あり論あり實ある

此の地の幼児教育状況の大なる原動力の一を茲に見る。

又岡山市保育會は、市學務課長を會長とし市立幼稚園托兒所の職員を以て會員とし、毎月輪番に研究保育會を開催し理論の研究と共に實際保育の充實を計る。

なほ昭和三年には縣保育指導委員なるものを置き、縣下の保育状況の充實を計ると。

保姆各位の熱誠に加ふるに斯く力強き當局識者の聲援研究機關の活躍は、即ち今日の岡山に於ける名實共に盛なる幼児教育を實現せしめた大なる源泉であると思はれる。(以下次號)

氏原、膳兩女史のレコード

倉橋惣三

我國の幼稚園は如何なる出發をしたか。どういふ保育法が行はれ、どういふ唱歌がうたはれたか。

それは系統的に幼稚園史を研究しようとするものでなくとも少なからず興味を感ぜられることである。殊に、保育項目の中で、他のものは大體外國の型を學び得たとしても、唱歌ばかりは、その儘の歌詞、そのまゝの曲譜を用ゐる譯にゆかなかつた。それを新作し、新曲する上に、如何に多くの苦心が費されたであらうかといふことだけでも、いろ／＼想像を促して來るのである。しかも、當時の歌を如何にして保存すべきか、私達は、その昔の聲をそのまゝ聽く爲に、どうしたら、か——我國最初の保姆として、今も若い、元氣な、美しい聲の所有者たる氏原、膳兩女史に請ふて、昔の幼稚園唱歌のレコード吹込みを願つたのは此爲めである。

全國幼稚園の方々、教育に興味をもたる、方々に、此の一種の國寶的レコードをすすめて。

(廣告御參照を乞ふ)